安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

整理番号 TNI 00608
作成日 2005/12/1
最終更新日 2015/1/1

1. 化学物質及び会社情報

会　　社　：大陽日酸株式会社
住　　所　：〒142-8558　東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
担当部門　：SI 事業部　　担 当 者 ：平　　博 司
電話番号　：03-5788-8695　　FAX 番号 ：03-5788-8710
緊急連絡先：SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
メールアドレス： Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
ホームページアドレス：http://stableisotope.tn-sanso.co.jp

化学物質　　フタル酸ビス

製品名　　フタル酸-3,4,5,6-d_4 ビス

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

---

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性：	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない

	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入： ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
	急性毒性（吸入： ミスト）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 2 （精巣、肝臓）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分 4

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 軽度の皮膚刺激

眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期又は反復ばく露による精巣、肝臓の障害のおそれ
長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き：　【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【応急措置】
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

3. 組成・成分情報

単一製品/混合物の区分‥　単一製品
化学名 ‥‥‥‥‥‥‥‥　フタル酸ビス（２－エチルヘキシル）
別名 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥　フタル酸ジ（２－エチルヘキシル）
フタル酸ジ－ｓｅｃ－オクチル
ベンゼン－１，２－ジカルボン酸ジオクチル
含有量 ‥‥‥‥‥‥‥‥　９９％以上
化学式又は構造式 ‥‥‥　$C_6H_4(COOC_8H_{17})_2$
官報公示整理番号 ‥‥‥　化審法：（３）－１３０７　　安衛法：（３）－１３０７
ＣＡＳ番号 ‥‥‥‥‥‥　１１７－８１－７
国連分類番号 ‥‥‥‥‥　国連の定義上の危険物に該当しない。
国連番号 ‥‥‥‥‥‥‥　国連の定義上の危険物に該当しない。

4. 応急措置

目に入った場合 ・・・・・・・・ 先ず数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズをはずす)、医師に連れて行く。

皮膚に付着した場合 ・・・・ 汚染された衣服を脱がせる。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。医師に連絡。

吸入した場合 ・・・・・・・・・ 新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

飲み込んだ場合 ・・・・・・・・ ロをすすぐ。多量の水を飲ませる。医師に連絡。

5. 火災時の措置

消火剤 ・・・・・・・・・・・・・・・ 粉末、水性膜泡消火薬剤、泡、二酸化炭素。水は不可。

消火方法 ・・・・・・・・・・・・・ 火元への燃焼源を断ち、消火器を使用して消火する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を用いる。

6. 漏出時の措置

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 漏出液ならびに漏洩液を密閉式の容器に出来る限り集め、残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・ 吸い込んだり、眼、皮膚、粘膜、着衣に直接触れたりしないように注意し、適切な保護具を着用して、できるだけ風上から作業するようにする。火気厳禁。

保管 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 強酸化剤、酸、アルカリ、硝酸塩から離して保管する。乾燥した、冷暗所で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 ・・・・・・・・・・・・・ ＡＣＧＩＨ（９２－９３年度版）:

ＴＬＶ：５ｍｇ／ｍ３（TWA）

１０ｍｇ／ｍ３（ＳＴＥＬ）

ＯＳＨＡ：

ｓｔａｎｄａｒｄ－ａｉｒ；TWA ５ｍｇ／ｍ３

ＮＩＯＳＨ：

ＲＥＬ（ｄｅｐｈ－ａｉｒ）:可能な最低レベルまで下げる。

保護具 ・・・・・・・・・・・・・・・ 【呼吸用保護具】空気呼吸器、酸素呼吸器、防毒マスク（物質及び濃度に対応した吸収缶を使用する。）酸性ガス用、有機ガ

ス用、塩素ガス用、ＣＯガス用等の該当する有毒ガスの吸収缶を装着した防毒マスク。
【保護眼鏡】密着型保護眼鏡（ゴーグル)、顔面シールド（フェースシールド)。
【保護手袋】耐薬品性の手袋。
【保護衣】ゴム製安全靴又は不浸透性安全靴、ゴム製又は不浸透性保護衣、安全帽子（ヘルメット)。

設備対策 ・・・・・・・・・・・・・ 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。また取扱所の近くに洗眼器および安全シャワーをいつでも使用できるように準備しておくこと。

---

9. 物理及び化学的性質

外観等 ・・・・・・・・・・・・・・・ 特徴的な臭気のある無色～淡色の粘稠液体。
沸点 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８５℃
融点 ・・・・・・・・・・・・・・・・ －５０℃
比重 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ０．９８６
溶解度 ・・・・・・・・・・・・・・・ 水：０．００１ｇ／１００ｍｌ（２５℃)
グリセリン、グリコールや若干のアミンには不溶。エタノール、ベンゼン、エーテル、アセトンに易溶。
蒸気圧 ・・・・・・・・・・・・・・・ ０．００１ｋＰａ（２０℃)
引火点 ・・・・・・・・・・・・・・・ ２１５℃（Ｏ．Ｃ.）
発火点 ・・・・・・・・・・・・・・・ ３５０℃
爆発限界 ・・・・・・・・・・・・・・ 下限：０．１ｖｏｌ％（空気中）　上限：データなし。
揮発性 ・・・・・・・・・・・・・・・ なし。
可燃性 ・・・・・・・・・・・・・・・ あり。
発火性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 水などの消火薬剤と激しく反応する。
爆発性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 水があると火災や爆発の危険性がある。
その他 ・・・・・・・・・・・・・・・ 相対蒸気密度（空気＝１)：１３．４５
強アルカリ、強酸で加水分解する。

---

10. 安定性及び反応性

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 強酸化剤、酸、アルカリ、硝酸塩と反応。

---

11. 有害性情報

急性毒性 ・・・・・・・・・・・・・・ 経口：ヒト　　ＴＤＬ０　１４３　ｍｇ／ｋｇ
経口：ラット　ＬＤ５０　　３１ｇ／ｋｇ

経口：マウス　ＬＤ５０　　３０ｇ／ｋｇ
経口：ウサギ　ＬＤ５０　　３４ｇ／ｋｇ
皮膚：ウサギ　ＬＤ５０　　２５ｇ／ｋｇ
消化管に影響を与えることがある。反復または長期間の皮膚との接触は皮膚炎を起こすことがある。

刺激性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 眼、皮膚、気道を刺激する。
皮膚：ウサギ　５００ｍｇ／２４Ｈ ＭＬＤ
眼　：ウサギ　５００ｍｇ
眼　：ウサギ　５００ｍｇ／２４Ｈ ＭＬＤ

がん原性 ・・・・・・・・・・・・・ ＮＴＰ：ｂ（発がん性があると合理的に予想される化学品）に分類。
ＩＡＲＣ：２Ｂ（おそらくヒトに発がん性がある化学品）に分類。

---

12. 環境影響情報

分解性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 通産省の既存化学物質の安全性点検結果では「分解性の良好な物質物質」に分類されている。分解度：２９％（ＢＯＤ）。

蓄積性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 通産省の既存化学物質の安全性点検結果では「濃縮性が無い、あるいは低いと判断される物質」に分類されている。

魚毒性 ・・・・・・・・・・・・・・・ ４８ｈｒ　ＬＣ５０＞３０００ｍｇ／ｌ　ヒメダカ

その他 ・・・・・・・・・・・・・・・ ｌｏｇＰｏｗ（オクタノール／水分配係数）＝３．９８

---

13. 廃棄上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 取扱いおよび保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。少量ずつ焼却するか、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。該当法規に従って廃棄物を処理すること（国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。）

---

14. 輸送上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 取扱いおよび保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。
容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。一時停止させる時は安全な場所を選びエンジンを止めて安全の確保に努める。車両等によって運搬する場合、荷送り人は運搬人へ

輸送上の注意事項を渡す。
漏洩事故時、風下の人を避難させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張る等して人の立ち入りを禁止する。運送中に大量に漏洩や火災発生が生じたときは最寄りの消防、警察、保健所に連絡のこと。
該当法規に従って貯蔵、取扱い、荷造り、包装、表示、運搬を行うこと。（国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。）

---

15. 適用法令

ＰＲＴＲ法 ・・・・・・・・・・・・	第１種指定化学物質
労働安全衛生法 ・・・・・・・・	名称等を通知すべき有害物
消防法 ・・・・・・・・・・・・・・・	第４類引火性液体、第四石油類
大気汚染防止法 ・・・・・・・・	有害大気汚染物質
海洋汚染防止法 ・・・・・・・・	有害でない物質
バーゼル法 ・・・・・・・・・・・・	廃棄物の有害成分・法第２条第１項第１号イに規定するもの
外為法 ・・・・・・・・・・・・・・・	輸出貿易管理令別表第ニ
	輸入貿易管理令第４条第１項第２号

---

16. その他の情報

【参考文献】

ICSC 国内委員会監訳　国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版
化学工業日報社（1992）
14504 の化学商品、化学工業日報社（2004）
NIOSH, Registry of Toxic Effects of Chemical Substances.
通商産業省基礎産業局化学品安全課監修、化審法の既存化学物質安全性点検結果データ集、
（社）日本化学物質安全・情報センター（1992）
Edited by Robert E. Lenga, The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data,
Edition Ⅱ, Sigma-Aldrich Corporation（1988）
化学品法規制検索システム　日本ケミカルデータベース
GHS 仕様モデル SDS　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

＊ この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取扱いを対象とし

たものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。